

2013年度  
関西学院大学ロースクール  
B日程

一般入試（法学既修者）

民法問題

《14:00～15:20》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

## 【民法問題】

【問題 1】 次の各問に答えなさい。

- (1) A に対して甲債権を有している B は、9 月 3 日に、甲債権を C に譲渡した。そして、この債権譲渡について、同日 A は C に単なる承諾をした。他方、9 月 5 日に、B は甲債権を D にも譲渡し、この債権譲渡については、確定日付のある証書による通知が B から A に行われ、翌 6 日に通知は A に到達した。そして、C が A に対して履行を求めてきた場合、A は C に弁済しなければならないか。
- (2) E に対して乙債権を有している F は、9 月 10 日に、乙債権を G に譲渡した。そして、この債権譲渡について単なる承諾をした E が G に弁済をした後の 9 月 15 日に、F は乙債権を H にも譲渡し、この債権譲渡については、確定日付のある証書による通知が F から E に行われ、翌 16 日に通知は E に到達した。そして、H が E に対して履行を求めてきた場合、E は H に弁済しなければならないか。
- (3) J は、I に対する丙債権を K と L に譲渡した。そして、J から K への譲渡については、J から 10 月 4 日付の確定日付のある証書による通知がなされ、この通知は 10 月 7 日に I に到達した。他方、J から L への譲渡については、J から 10 月 5 日付の確定日付のある証書による通知がなされ、この通知は 10 月 6 日に I に到達した。この場合、I に対する履行の請求は、K と L のどちらが認められるか。

【問題 2】 次の問に答えなさい（下線部に注意すること）。

土地丁の所有者である M は、買主 N との間で丁の売買契約を締結した。その後、MN 間の契約の存在を知った O が M との間で丁の売買契約を締結して、登記も移転した。この場合において、N は、O に不法行為責任を問うことができるか。

以上